

右手の親指 (その二)

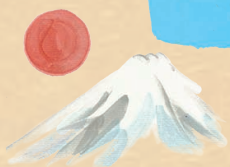
そのことがあつてからの事は余り記憶がない。間もなく清さんは居なくなつた。その火傷の傷跡は指紋が半分欠け爪の形も一部変形している。清さんは私より十歳位年上であるから今お元氣であれば七十前のお歳であろうか。何処でどうしてお暮らしながら懸命に生きた人たち。時代に身を寄せ合いながら。父も校長に頼まれた。自分断る事も出来ず、良ければと思ひ預かつた清さん。私も私のことが無ければある程度西川の家で技術を身に付けたことだろう。私があの時赤い炭を掴まなかつたら清さんも去ることはなかつたであらう。もし清さんが何処かで生きておられたら、私同様痛いこの想ひ出を記憶しておらう。

毎年冬が来る度、チクチク痛むこの右手の親指はあの日の事を思い出させてくれる。今となればそれも又暖かい想ひ出の一つにしか過ぎない。清さん：お元氣ですか。

四季だより

一月号

No.63



Naun's club  
1月お届けの作品

サイズ：18cm×15cm×10.5cm

[www.naun.co.jp](http://www.naun.co.jp)

- 道後「花心」 ☎089-945-9050
- 道後「雛屋」 ☎089-931-1477
- 今坊アトリエ山荘  
「南雲草」 ☎0893-52-1223

株式会社「南雲」

〒791-8043 愛媛県松山市東垣生町1084

☎089-973-3565

☎089-971-8345